

長年の功績を称え 全国市議会議長会 永年勤続議員表彰

5月22日に東京都で開催された第100回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に努めた功績を称え、本市議会より3名の議員が表彰を受けられました。また、6月10日の本会議において、議長から表彰状の伝達及び市長から感謝状の贈呈が行われました。



浜崎 昭臣 議員（議員25年表彰）

議員歴 平成10年7月～18年3月（牛深市議会議員）
平成18年4月～現在（天草市議会議員）

議員より一言

このたび、永年勤続議員表彰を賜りましたことは多くの市民の皆様のお力添えがあってこそその賞であり、心から感謝申し上げます。今後も市民の幸せと天草の活性化のため、使命感に燃え情熱をもって「一意専心」全身全霊で行動いたす決意でございます。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



下田 昇一郎 議員（議員10年表彰）

議員歴 平成26年4月～現在（天草市議会議員）

議員より一言

10年表彰をいただき、支えていただきました皆様に感謝申し上げます。
「夢のある天草づくり」を根幹に据え始まった10年間でした。市民の皆様の期待に応える行動ができているのか、天草の未来につながる選択ができているのか日々自問自答して進んでまいりました。今回の表彰を励みに、小さくまとまることなく自分らしく歩んでまいりますので引き続き叱咤激励の程よろしくお願い申し上げます。



柴田 誠 議員（議員10年表彰）

議員歴 平成26年4月～現在（天草市議会議員）

議員より一言

今回、永年勤続表彰を賜りました。これもひとえに多くの皆様のご支援のたまものと深く感謝申し上げます。
初めての一般質問は、経験した「不妊治療費助成」についてでした。子育て中の保護者として、多くの質問・提案をしてまいりました。これからも市民の皆さまの「笑顔」のために身近な議員として頑張っております。



ジェンダー平等社会について
地産地消及び有機農業の推進について

蓼田 庸子（日本共産党）



【本市ではジェンダー平等社会を どう進めるか】

問 市職員の男女別の割合は。

答 本市の職員数は1,629人で男性43%、女性57%。そのうち常勤職員は919人で、男性60%、女性40%。会計年度任用職員は651人で、男性20%、女性80%である。

問 男女の割合は、令和4年度からほとんど変化がなく、ジェンダー平等への取組の意思が見えない。管理職の男女別割合はどうなっているのか。また、今後の目標は。

答 女性管理職の割合は18%であり、令和11年度までの目標を25%としている。

問 小・中学校の女性校長の人数と割合は。

答 小学校は5名で29.4%、中学校は1名で7.7%である。

要望 児童生徒のジェンダー平等の感覚を育むためにも、女性管理職割合を30%まで近づけるための配慮を求める。



【地産地消及び有機農業の推進について】

問 食材費の値上がり分を助成する地産地消（学校給食）推進事業の今後の計画は。

答 地産地消の推進と保護者の負担軽減を目的としている本事業において、令和6年度は3,000万円を助成することとしている。今後も当面継続したい。

問 有機農業への支援は。

答 農業者へ「天草宝島SDGs農業協議会」への加入を促進して支援を行う。



御所浦架橋の促進について
藻場の重要性と調査について

浜崎 義昭（日本共産党）



【御所浦の住民の健康と産業発展 に向けた架橋の促進について】

問 島民の悲願である架橋事業は御所浦の日常生活の利便性と離島解消による地域活性化を目指すことを目的として、平成12年度に事業採択された。しかし、採択後22年が経過した令和4年度時点では、事業が「休止」となっている。

御所浦恐竜の島博物館がリニューアルオープンしたこの機会を生かして休止している架橋の建設を促進すべきでは。

答 架橋の重要性は承知しており架橋事業再開に向けた要望活動を継続している。架橋は緊急医療体制の確保や地場産業の振興に大きく寄与するもので、引き続き強く要望していきたい。



▲上空から見た御所浦地域

【藻場の重要性と調査について】

問 漁民の生活を守るために藻場造成が急がれる。子や孫たちが漁業で生活するためには何が必要か、末端の漁業者まで情報提供を行うべき。

藻場分布の現状は把握されているか。また、藻場への取組が本市の経済に大きな影響を及ぼす。市の取組を伺う。

答 国の調査を基に算出した結果450haが減少していると推定された。これまでの藻場の保全・再生活動を推進するとともにカーボンクレジットや駆除した海藻を食べる魚類の商品化など、関係者と一体的に事業を推進していきたい。